

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市日限山地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

◆ひざり地区の住民は3,765世帯、8,907名が居住し、高齢化率32.8%（29年住民基本台帳）

・4丁目は高齢化率42%を超えるが、一人暮らし高齢者107世帯、後期高齢者数370人。対し1丁目は高齢化率26%だが1人暮らし高齢者155世帯、後期高齢者数526人と突出している特徴がある。（平成27年10月国勢調査）

・街並みは、マンション14棟ある内12棟が1丁目に集中し残りの2棟が2丁目にある、他は80坪台の戸建てが多く居住50年程度の地区である。表面化しにくいが無職で40～50代の子供と2人及び3人で暮らしている家庭がある。

・自治会毎での団結心は強く、福祉や防災については独自の工夫で組織を立上げ各自治会館、日限山小学校コミュニティーハウスを利用した高齢者・子育て・障害児向けの活動を行う、更にひざり連自治会（以下、「ひざり連合」）を中心とした協議体を形成、「健康づくり」「障がい児者」「高齢者」「子ども青少年」「活性化」と5つの部会を立上げ企画運営会議を毎月重ね、それ以外にも有志が集う「ひざりの明日を考える会」を定期開催する。

・消防・防災訓練等に関しては1・2丁目自治会が小学校拠点、3・4丁目自治会が中学校拠点で行われている。

◆丸山台自治会の住民は、3,147世帯、7,136名（29年住民基本台帳）が居住し、高齢化率24.0%。3丁目は高齢化率が34.0%に対し、一人暮らし高齢者は2丁目が77世帯と一番多い（平成27年10月国勢調査）。

・中心に市営地下鉄駅と商店街を持つ。夏祭りでは小学校・中学校、野球、サッカー等クラブチーム、企業、商店会等が模擬店を開催、高齢者から子供まで地域行事に参加する活発な面がある。自治会館を二館所有しサロン等活動も3か所で行われている。駅前マンションでは東日本大震災以降、サロンを立ち上げ、多い時には月3度開催、また終の棲家となる様、管理組合・施工会社と話し合いを重ねている。

・両地区とも高齢化と新しい担い手が見つからない課題がある。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

【実施評価】

- ・事業・相談を通じ高齢者・子育て・障がい等に関わる運営方法・参加者の見直しと発展を図った。
- ・ふらり～カフェ（専門職が関わり、認知症、子育て親子、障がい者、高齢者、誰もが参加できるカフェ）
ケアプラザの地域活動交流・生活支援体制整備・地域包括支援センター・居宅介護支援事業の全部門（以下、「全部門」）が運営協力し、特に相談専門職の地域包括支援センター（以下、「包括」）が輪番で参加。特に高齢参加者の傾向等を把握、気にかかる方へ声掛けを行う事で新規の相談につながるケースがあった。また、介護保険の相談等で来所した方にカフェへの参加を呼びかけ地域と繋がりが出来たケースもある。カフェ参加を通じ見守りの場としての役割を果たしている。
障がい施設へパン販売を依頼、障がいへの理解を深めて頂いた。
近隣の高齢者施設から定期的な参加があり地域と繋がる居場所として定着した。
子育て親子を対象に5月・8月にイベントを実施、親子10組を超える参加があった。
- ・ひざり地区第三期地域福祉保健計画（以下、「地福」）を推進。
※（4）地域福祉保健計画のネットワークの構築を参照。
- ・ケアプラザが相談場所であることを周知するため、外掲示板の活用、サロン、地域の各種会議へ参加、行事、商店会等に積極的に出向きPRした。
- ・館内に季節行事に合わせた装飾、使いやすい図書コーナー、情報ラウンジ、キッズコーナーなど設け来館しやすい雰囲気作りに努め、世代を問わず相談できる環境を整備。
- ・包括が受けた高齢者相談は相談票を作成し、所長と包括・地域活動交流（以下、「交流」）・生活支援体制整備事業（以下、「生支」）の3部門（以下、「3部門」）で回覧し地域課題を把握した。
- ・相談の傾向は統計システムを使い、各丁目毎の一人暮らし者、認知症相談数の傾向やニーズ分析を継続した。

(2) 各事業の連携

- ・貸館利用者からの相談、地域の困りごとなどの情報は3部門が情報共有し各部門の専門性を活かした支援策を検討した。
- ・包括が受けた高齢者相談は相談票を作成し、所長と3部門で回覧し地域課題を把握した。
- ・全部門で共有した事柄やノウハウを、月1回所内会議で情報共有、個々の専門分野で活用し地域や事業検討を実施した。日常的な情報共有は随時小会議を開催した。
- ・相談の傾向から男性の役割・居場所の課題を3部門で共有、介護予防啓発事業とボランティア講座を合わせた、「オトナの男の頂講座」を開催した。また最終回にはひざり・丸山台地区の民生児童委員、受講者の家族等を招いてお披露目会を開催、地域とのマッチングを行った。
- ・シルバークラブ、民生委員児童委員協議会（以下、「民児協」）、商店会、自治会と共に地域ケア会議を開催することで地域に一体感を持つ事が出来た。その後自治会の要援護者委員会に参加、具体的な取組を行う為の協議体への進展を図ることが出来た。
- ・地域サロンへ3部門が輪番で参加し課題の抽出及び支援・見守りを実施した。
- ・全部門で、障がい児余暇活動支援事業「ドルフィン」「ケアプラザ the フェスティバル」「ふらり～カフェ」等協力し取り組んだ。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・市域での研修会にて、職員が協議体事例発表を行う事ができた。
- ・各種研修へ参加し、その都度研修内容をフィードバックして共有する事ができた。
- ・ケアプラザ会議を所長と全部門で毎月開催し情報共有した。また、必要時にはその都度報告会を設けた。
- ・災害時及び救急対応時の役割を明確にし防災訓練にも反映した。(年2回実施)
- ・貸館登録団体へのアンケートを受けて、災害時の対応について各団体へ徹底を図るとともに、利用頻度の高い団体には、施設利用時に参加者に直接説明した。
- ・非常勤職員向けに定期的に内部研修を行った。(リスクマネジメント、マナー、感染症対策など)

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

【実施評価】

- ・ひざり地区地域福祉保健計画の推進
「健康づくり」、「障がい児者」、「高齢者」、「子ども青少年」、「福祉保健活性化」(以下、「5部会」)に対し、各部会にケアプラザ職員を事務局として配置し、運営支援を行った。
- ① 健康づくり部会
全自治会で「ラジオ体操」実施しており継続のための支援を行っている。今年度は1丁目でラジオ体操からお茶飲み会を開催し、関係づくりを発展させた。また、年3回「かんたん健康チェック」を実施しており、開催支援を継続的に行っている。「介護を受けないからだづくり～低栄養から陥るフレイル防止～」高齢者対象の栄養に関する講座と、ケアプラザと共催で全世代を対象とした「防災講座」を高齢者部会と協働で開催した。
- ② 障がい児者部会
障がい児者部会ニュースを作製発行(号外含め8部)し地域回覧。
ケアプラザ the フェスティバル、ひざり地区自治会夏祭り3か所で障害者施設の製品を委託販売し、障がい理解と部会を周知。
日限山中学校体育館にて「みんなの学校」映画上映会を開催220名来場。
- ③ 高齢者部会
地域サロンの「居場所交流会」を開催。認知症になっても暮らせる街づくりについてディスカッションを行う。一人暮らし高齢者の外出支援として5職種合同で夢ツアーを開催した。
- ④ 子ども青少年部会
ケアプラザ the フェスティバルにてバルーンアート体験、児童の見守り活動啓発常設チラシ発行・掲示、親子「ふれあいスポーツフェスティバル」開催等活動支援を行った。
- ⑤ 福祉保健活性化部会
連合未加入マンションとの連携。地域福祉保健計画中間振り返りの地域フォーラムの開催。4つの部会情報集約等を行った。
- ・5部会には、以下の地域団体のメンバー約70人が参加している。
連合自治会、単位自治会、地区社協、民児協、シルバークラブ、保健活動推進員、環境事業推進員、スポーツ推進員、NPO、任意団体等が参加。
また各部会担当者の情報共有の為、正副部会長会議。そして、有志が集う「ひざりの明日を考える会」の開催支援を行った。
- ・ひざり地区支援チーム会議を隔月で開催、5部会活動を中心に地域フォーラム開催に向けた協議を行った。3月には一般参加者への声掛けも行き地福計画の振り返りとこれからの地域づくりについてワークを行った。
- ・永野地区エリア支援チーム会議から全体会議への連携協力を行った。
- ・丸山台自治会要援護者委員会へ区役所、区社協と協働で参加を行った。
- ・各単位自治会定例会へ参加した。

- ・包括保健師が保健活動推進員定例会へ参加した。
- ・地域ケア会議に、単位自治会長、商店会、郵便局等が参加、地域活動等が要支援者の生きがいの一端を担っていることを見て頂いた。
- ・「日限山歩こうクラブ」が平日 19 時・20 時とケアプラザを出発終着点として見回りをして頂いている。
- ・ひざり地区社会福祉協議会主催の福祉講座の支援を行った。

(5) 区行政との協働

- ・個別相談業務として区の高齢障害支援課と包括職員で毎月カンファレンスを実施し、情報共有、検討、役割分担を図りました。内容に応じて介護保険サービス事業者、民生委員等地域関係者を招き、課題解決に向けた討議を図りました。また区の高齢障害支援担当とは、必要に応じ電話で情報共有し、同行訪問等を行いました。
- ・地域づくりの第 3 期ひざり地区地域福祉保健計画には支援チーム会議をいの実行実現に向けて港南区役所の福祉保健課から高齢障害支援課・子ども家庭支援課まで横の繋がりを持って連携協力体制を持ちました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

① 高齢向け講座

- ・さわやか港南と共催で認知症理解講座の開催を行い、近隣施設との連携と地域の見守りを促した。参加者 52 名。
- ・高齢者及び子どもの居場所作りとして、生支と共催で囲碁将棋サロン「あい碁で将」を開催。毎回約 20 名の参加があり、居場所として定着しつつある。また、ボランティアからも運営への助言を伺い、対戦表などを用いて飽きのこない運営を心がけた。
- ・定年退職後の男性を対象とした講座「オトナの男の頂講座」を 3 部門で開催。参加者 11 名。料理教室と介護予防（運動等）を交互に取り入れ自主化後の活動の幅を広げやすく工夫した。
- ・定年退職後の男性を対象とした講座「セカンドライフ大学校」を区社協、区役所、区内ケアプラザ共催で開催。参加者 35 名。区内支援チームと連携を行い、自主グループ化を支援した。
- ・シニア世代対象とした「PC 何でも無料相談」の開催。毎回約 6 名（定員 8 名/回）の参加者があり。3 月にはニーズが高かった内容についての特別講座を開催した。

② 子ども向け講座

- ・障がい児の余暇支援としてドルフィンの開催。港南区の作業所との連携を行い、作業所のメンバーが講師となり、保護者からは子ども達の将来像が見え参加して良かったとの声があった。参加者延べ 59 名、ボランティア延べ 126 名の参加があった。
- ・小中学生を対象とした居場所作り「宿題ルーム」の開催。休日の高校生のニーズがあることがわかり、次年度高校生以上を対象とした居場所作りを検討。
- ・夏休み余暇事業として、小学生対象とした「フラワーリース作り」を日限山在住の講師を依頼し地域密着型事業を開催。講師の方及び、同伴の保護者へのケアプラザの役割・利用方法の PR を行った。
- ・夏休み余暇事業として、小学生対象とした「クッキー作り体験」の開催、講師をケアプラザ職員、助っ人として個人ボランティア 4 名に依頼し、参加者同士の交流と共にボランティア同士の交流が出来た。保護者へケアプラザ役割・利用方法の PR を行った。

- ・子育て世代の父親対象として横浜市講師派遣事業を利用し「PapaCo スクール」を開催した。
- ・未就園児対象とした子育て教室「ぐんぐんひろば」を開催した。
- ・ひざり地区・舞岡地区民児協、日限山中学校、舞岡柏尾地域ケアプラザ（戸塚区）と共催で、未就園児対象とした「みんなであそぼう」（水遊び）を開催した。
- ・未就園児保護者対象「入園までのワンツースリー」を港南区子育て拠点はっち（以下、「はっち」と共催にて開催。参加者 18 組 38 名。
- ・未就園児保護者対象「公園であそぼう」をはっちと共催にて開催。参加者 25 組 55 名。
- ・未就学児～小学生向け講座「クリスマス会」を開催。街のアドバイザーを講師に迎え、調理室にてケーキ作りなどを行い、個人ボランティアがサンタに扮してクリスマスソングなどを行い楽しんだ。

③就労女性向け講座

- ・女性だけでなく中間層向け講座の検討を行った。

④全世代向け講座

- ・ケアプラザ the フェスティバルを地区社協や民児協、ひざり連合、丸山台自治会と連携を行い、且つボランティアを募集し開催。貸館団体や地域活動団体の発表や活躍の場とし、併せてケアプラザの PR を行った。参加者約 480 名。ボランティア 229 名。
- ・高齢、子ども、障がいの隔てを超えた居場所作りとして「ふらり～カフェ」を全部門で昨年度に引き続き開催。年に 2 回子ども向けイベントを開催し、子育て世代への参加を促した。
- ・3 部門で認知症サポーター養成講座の開催。
- ・ケアプラザの廊下を利用して、誰でも参加が出来る廊下ギャラリーの開催。
- ・ケアプラザ the ギャラリー（展示会）を貸館登録団体のニーズを踏まえ実行委員会形式を取り、企画から運営までを行った。実行委員会には 7 団体が参加した。出展団体数は 22 団体。来場者数は約 240 名。
- ・障がい理解講座を近隣施設アイアムと共催・港南区障がい者連絡団体と連携を行い開催。参加者 16 名。
- ・防災講座をひざり地区の健康づくり部会・高齢者部会と共催で開催。絆塾♡下永谷へ講師を依頼し、近隣地区との交流を兼ねた講座開催が出来た。参加者 18 名、運営ボランティア 17 名。
- ・近隣施設と共催で「お餅つき大会」の開催。ボランティアとして貸館登録団体や男性グループ極みの会へ依頼し開催。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ふらり～カフェのイベント枠で発表の場の継続を行った。平日お昼のため、夏休みには小学生の発表を行った。併せてセカンドライフ大学卒業生「やろうぜ！HETS」が運営ボランティアを行い福祉保健活動への理解を促した。
- ・ケアプラザ the フェスティバルでのステージでの発表を行った。
- ・廊下ギャラリーでの展示は、声掛けを行い促した。
- ・施設内掲示板及びバス停前の立地を利用し掲示板での情報提供を行った。
- ・バス通り沿いのため 2 階ベランダ及び、北側の壁面や側面へ看板ポスターを掲示しイベント開催の告知を行った。
- ・法人 HP で貸館や事業などを公開し情報提供を行った。
- ・貸館空き状況リストを定期的に更新し活用を促した。
- ・調理室を使用した事業を開催し、調理室の利用を促した。
- ・ケアプラザの利用手引きやボランティア募集リストを作成した。リストを見て実際に活動へとつながった。

- ・ケアプラ the ギャラリーを開催し貸館団体及び老人会などへ参加を促し、参加だけでなく一緒に企画から行いイベントを作り上げた。次年度以降も継続を行う。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・新たな人材の発掘を目的としたボランティア養成講座として、3部門で男性限定講座「オトナの男の頂講座」を開催。
- ・よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を開催した。
- ・ケアプラ the フェスティバルやふらり～カフェ、自主事業にてボランティア募集を行い活動の場のコーディネートが出来た。
- ・ケアプラ the ギャラリーではボランティアが受け身ではなく、意見を出しながら他団体と協力し、事業を開催することが出来た。
- ・夏休み余暇事業として、小学生対象とした「クッキー作り体験」の開催、講師をケアプラザ職員、助っ人として個人ボランティア4名に依頼し、参加者同士の交流と共にボランティア同士の交流が出来た。
- ・地区社協の理事会やメンバーへの定期的な声掛けを行い、情報収集及び提供を行った。ボランティア不足の相談を受け、セカンドライフ大学校卒業生へ声掛けを行い、ひざり地区社協主催カフェドリームでの活動へ参加。
- ・ボランティア募集リストを作成し、掲示板や配架・配布を行い活動に参加しやすい環境を提供し、実際にリストを見て申し込まれ活用されていることが実感できた。
- ・近隣施設へ演奏会など活躍できる場のボランティアコーディネートを行った。
- ・登録ボランティア交流会を開催した。
- ・区社協と区内ケアプラザ、区役所共催のセカンドライフ大学校4期生へケアプラ the フェスティバルや今期のセカンドライフ大学校昼食作成などボランティアを依頼し、継続的活動への支援を行った。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

「情報収集」

- ・各单位自治会の定例会へ参加し情報収集を行った。
- ・地域サロンへ輪番で参加し、地域の情報収集やケアプラザの情報提供を行った。
- ・地区内の小中学校へ定期的に伺い、情報収集やケアプラザの情報提供を行った。
- ・包括の初回相談表を確認し個別ニーズの把握を行った。
- ・区境に立地しているということから、エリアを超えた地域支援に関する相談があり他区地域ケアプラザと連携を行い情報の把握を行った。

「情報提供」

- ・法人HPで広報誌と貸館空き状況の掲載を行った。
- ・ひざり地区地域活動情報誌「参加しませんか」を平成31年4月に更新出来るよう準備を行った。
- ・広報こうなんやタウンニュースなどの広報誌にケアプラザの情報掲載を行った。
- ・ひざり地区社協の広報誌「かけはし」(ひざり地区全行配布)と連携し、掲載を行った。
- ・施設利用の手引き(利用方法やケアプラザの設置意義等)を利用者向けへ作成し、施設利用の情報提供を行った。
- ・福祉保健活動団体向けの交流会を行い、団体同士で情報交換を行う場の提供を行った。
- ・広報誌「ひだまり」を隔月で発行を行い、地域回覧板や法人HPでの情報提供を行った。
- ・広報誌「ひだまり」内で、貸館登録団体の活動情報コーナーを設置し紹介を行った。
- ・「こうなんひまわりタネット」への情報更新を行った。
- ・バス通り沿いの立地を活かした、2階ベランダや公園側へのポスター掲示により宣伝を行った。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 専門職が行うサロン「ふらり～カフェ」を全部門で毎月開催。
未就園児親子から要支援や認知症の高齢者、グループホーム等に入所している高齢者、障がい者、近隣住民の利用があった。また、ボランティアの活動場所としても役割を持たせた。
- ・ あい碁で将！（囲碁・将棋の交流協働事業）運営を貸館利用団体ボランティアに依頼、毎回20名を超える参加者があった。男性の居場所になった。
- ・ ひぎり地区地福計画の部会会議を協議体と位置付け毎月重ねることで、地域主体での、外出支援、居場所交流会、ラジオ体操、かんたん健康チェックを実施する事が出来た。
- ・ 港南区社会福祉協議会と港南区役所、交流協働でのセカンドライフ大学校にてグループ立ち上げの為「ケアプラザが目指す個人から地域支援まで」としてつながりと役割を持つ大切さの講演を行った。
- ・ 地域ケア会議にて、「地域包括ケアシステムと地域ケア会議」の関係についてつながりと支えあいの重要性を強調したプレゼンを行った。
- ・ 介護予防・生活支援サービス補助事業（以下、「サービスB」）の立ち上げ支援にて横浜市見守り支援を行う団体を登録する事が出来た。それによりエリア内に2つのサービスBを行う団体が増え地域資源に厚みがました。
- ・ 見守り協力事業者登録申請をお願いすることで商店会との関係が築けた。また郵便局・信用金庫・都市銀行等との関係をつくる事ができた。
郵便局からは、ひまわりホルダー事業を活用され転倒したお年寄りの件で電話連絡をもらうことが出来た。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ ケアプラザ地域概要シートを作成し、協議体（活性化部会・高齢者部会）にて情報共有した、一人暮らし高齢者支援に重きを置いた。
- ・ ひぎり地域情報誌「参加しませんか」4つの拠点（各自治会館・コミュニティハウス・ケアプラザ）で活動する全86グループを4月に更新予定。また「アヤム」に登録を行った。
各取材を通じて、ケアプラザの周知と趣味活動から生きがいへと意識の高い方々と出会う事が出来た。
- ・ 高齢者部会「協議体」から10か所の居場所交流会を行った。情報共有や課題克服、横の繋がりを持たせ居場所を行う意義や価値の再認識を持って頂いた。また、認知症になっても住み続けられる街（サロン）をテーマとしてディスカッションの場を持った。
- ・ 包括と生支と輪番にて地域サロンへ出向きレクリエーション等担うことで運営側の課題等把握することができた。

(3) 連携・協議の場

- ・ 地域が主催する地域福祉保健計画実行の「協議体」を健康づくり部会・高齢者部会・福祉保健活性化部会として毎月開催した。その成果として、全自治会での「ラジオ体操」、「かんたん健康チェック」、「高齢者対象の低栄養に関する講座」、全世代を対象とした「防災講座」をケアプラザと共催で開催。地域サロンが集い「居場所交流会」を実施。「外出支援夢ツアー」実施へと発展させた。
- ・ 有志が集まり「ひぎり地区明日を考える会」の開催支援を行った。

- ・助け合いネットワークコーディネーター会議に参加、専門職への連携等支援アドバイスを行った。
- ・自治会定例会に参加。班長が自分の足で見た班の様子を報告する場面から、地域の詳細を把握することが出来た。
- ・包括が行う、「地域ケア会議」にて地域包括ケアシステムと地域の関わりについて生支としての立場からの説明を行った。
- ・丸山台自治会要援護者委員会に区社協・区役所と共に参加、協議体へのきっかけづくりを行った。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・第1層生活支援コーディネーターが行う区レベル協議体の情報を共有、当該エリアにて同様の課題が上がり外出支援、夢ツアーを行った。その体験を元に地域代表者を区レベル協議体に推薦を行い協力をした。
- ・永野地区支援チーム会議は、5ケアプラザが分担している。この場を活用して5ケアプラザの生支に参加してもらい、各ケアプラザでの協議体への状況報告をする時間を設けより広域での地域課題や取組の共有を行った。
- ・サービスBに関する意見交換会を戸塚区・栄区・磯子区・旭区を交えて行う事が出来た。
- ・横浜市通所型支援団体が区境にある為、近隣区の包括へ団体と同行訪問周知を行った。ケアプラ広報誌掲載にて回覧板周知を行った。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・医療機関とのネットワーク構築を図るため、エリア内で開業している医療機関を19件訪問し、各機関の役割や相談しやすい関係作りに努めた。区役所高齢支援課、区医師会在宅医療相談室も同行し、両機関とも強固な関係作りも図られた。
- ・ひぎり地区活動情報誌「参加しませんか」を31年4月更新の準備をし、閲覧のほか配布できるよう整備し地域住民や関係者と情報共有した。
- ・地区社協のネットワークやボランティア団体を把握し、必要な方に情報提供できるよう整備した。
- ・ひぎり地区第3期地福計画を住民主体で進めるため5部会の事務局を担い、部会毎に社会資源マップやリスト作成、講座開催や作業所の物品販売を行い、ネットワーク構築を図ったほか、複数の部会が協働し、防災講座開催や、自治会と協働で障がい啓発映画（みんなの学校）を上映し地域住民に広く伝えた。さらに上映報告及び地域活動のアンケートの結果を掲載したチラシを回覧・掲示し住民にフィードバックした。
- ・丸山台エリアのネットワークを強固にするため丸山台自治会シルバークラブ、サロンと連携し成年後見制度とエンディングノートの講座開催の準備を行った。
- ・地域ケア会議を、丸山台で課題となっていた「要援護者見守り活動」について丸山台地区民児協、役員、商店会、郵便局員を対象として開催し、協議体としてさらに住民と共に勧めていくこととなった。
- ・地域の自治会夏祭りにブース出展し、クイズ等のイベントにより子供から高齢者の幅広い世代へ包括の周知を含めた福祉の啓蒙活動を行った。
- ・地区社協の理事を引き続き受け、地域会議に参加し情報収集とニーズの把握に努めた。

- ・地域の関係機関と定例会等を通じ情報収集とニーズの把握に努め、ネットワークを強固にした。
 - ・民生児童委員協議会定例会（ひぎり・永野）
 - ・保健活動推進員定例会（ひぎり・永野）
 - ・ひぎり地区福祉講座検討会
 - ・シルバークラブ、サロン等
- ・支援チームの情報共有、ネットワーク強固、課題抽出・解決のために、定期的または随時、区役所、区社協と支援チーム会議を開催した。
- ・カンファレンスは、内容に応じ介護保険サービス事業者、民生児童委員等地域関係者を招き、課題解決に向けた討議を図った。
- ・地域の見守り支援の一つに、「港南区見守り協力事業者」を丸山台商店会、日限山商友会に周知し啓蒙を図った。
- ・地域ケア会議を再度開催して欲しいという要望を頂き、地域づくりの効果が、地域の方の理解や意欲に現れていると確認できた。

【今年度評価の理由】

前年度課題であった様々な種類のネットワークの在り方の検討と普及啓発を目指し、医療機関とのネットワーク構築を図った。訪問により、これまでも連携のとれていた医療機関とはますます相談しやすい関係が築かれ、これまで連絡の無かった医療機関からも相談の連絡が来るようになった。

②実態把握

- ・男性限定の「オトナの男の頂講座」を開催。
講座終了後に地域活動を担う自主グループを目指し、参加者募集時からその旨を告知した。その結果、自主グループ化に繋がった。
- ・高齢者の相談、個別訪問から高齢者の個別ニーズや圏域の実態を把握した。
- ・各種統計資料から圏域の情報を収集するほか、さらに日頃の相談訪問業務を統計システムで整理し個別ニーズ、圏域のニーズを数値化し把握した。
- ・ケアプラザで開催する各種事業のアンケート結果や声を地域住民にフィードバックすることで住民の理解を深め、さらに事業展開を図り圏域のニーズからPDCAサイクルを作った。
- ・ひぎり地区地域福祉保健計画の催しでは地域活動で興味のあることをアンケート調査し、圏域の実態把握がされ、また地域へフィードバックした。
- ・ひぎり地域活動情報誌「参加しませんか」を31年4月更新準備し、インフォーマルサービス等が地域住民やケアマネジャー等、必要に応じサロンの内容や参加の方法等を含めニーズに応じた情報提供を行った。

③総合相談支援

- ・高齢者に関して、家族、民児協をはじめとした地域の方からの相談を受け止め、相談内容を的確に把握し相談票を3部門で回覧し地域課題を把握した。その分析から、男性高齢者の孤立化対策として、男性限定「オトナの男の頂講座」を開催し、講座終了後に自主グループ化した。
- ・相談内容に応じ地域資源、一般介護予防事業等の情報提供をし、必要に応じた関係機関、制度、事業等フォーマル・インフォーマルに繋げた。
- ・日頃の相談を整理・分析し、地域課題に繋がる相談内容については、関係機関、地域キーパーソン等を交えて、地域ケア会議等を開催し課題解決を地域住民主体で行われるよう支援した。

- ・ケアプラザから遠い丸山台地区に出向くことを強化した。駅近くで集まりやすい JA 横浜港南支店の会議室を借り講座の開催や、自治会館で地域ケア会議・ミニ講座・情報提供を行い、ケアプラザの機能を周知し相談しやすい関係作りに一層努めた。
- ・サービスに繋がらず孤立化等で見守りが長期に及んでいるケースは、カンファレンス等を通じ定期的な関わりを見直しフォローした。
- ・精神疾患による混乱や認知症の方の相談対応は、高齢障害支援課、はいかい認知症高齢者等 SOS ネットワーク、警察、消防、郵便局等とも連携を図り、相談者本人・家族はもとより近隣者の不安と安全を守れるよう連絡調整した。
- ・要介護の親と未就労の子の世帯への支援は、世帯状況や心身状況を踏まえ、関係機関と連携し計画的かつ継続的に支援した。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・権利擁護普及啓発講座「わたしの人生計画」を、今年度も成年後見制度、エンディングノートなどをシリーズで企画し、ケアプラザから遠いエリアの丸山台にある JA 横浜港南支店の会議室で開催し、定員 50 名のところ参加希望者多数で 70 名に増員した。
- ・シルバークラブいぶき会で 30 名に任意後見・法定後見の両方を寸劇を交えて分かりやすく説明しエンディングノートの活用も啓発した。寸劇には地域役員にも出演を依頼し、親しみやすさの工夫を凝らした。
- ・親族申立て、区長申立てについて、各々のケースに応じた支援アドバイスをを行い、スムーズな制度利用ができるよう図った。
- ・総合相談支援で認知症の相談の時には、成年後見制度の必要性を検討し掘り起こしに取り組み、家族やケアマネジャーに啓蒙し申立てに繋げた。
- ・個別の消費者被害についてケアマネジャーやヘルパー、家族等からの相談時には、消費生活センターと連携し解決支援を図った。
- ・任意後見契約しているが、委任契約から任意後見に進まないケースに対し家族関係を考慮しながら対応した。
- ・近隣の郵便局と地域ケア会議や個別相談を通じて、報告や相談がしやすい関係作りに努め、消費者被害の防止に取り組んだ。

② 高齢者虐待への対応

- ・虐待や虐待の疑いの相談・通報は、インフォーマル団体の民児協やたすけあいネットワークの連絡会で情報収集し訪問を行い、区高齢障害支援課と連携して速やかに対応した。
- ・個別ケース
 - ① 子によるネグレクトの疑い（要介護者）
区高齢障害支援課、ケアマネジャー、サービス事業所と事実関係を確認。本人は一時避難的に入院し、子の理解力の乏しさが判明。子の支援方法を協議し、関係機関で役割を再確認し在宅へ戻った。
 - ② 孫による身体的暴力（未介護認定）
区高齢障害支援担当と連携し被虐待者と養護者の役割分担支援し、分離を図った。
- ・区内社会福祉分科会で引き続き区内ケアマネ連絡会他、区内介護事業所対象に虐待防止研修を行った。
- ・虐待の理解・普及啓発を、永野地区民児協 30 名に実施した。グループワークを通し虐待の対応を学び、地域住民の通報義務や関係機関の役割を周知した。
- ・要介護の親と未就労の子世帯へのアプローチは、引き続き関係機関との連携を行うと共に、子への支援・傾聴を行い、包括が中立の立場であることを理解されるよう図った。

- ・認知症家族のつどいを毎月開催し、ピアカウンセリングにより虐待の抑止を図った。
- ・ふらり～カフェが、孤立しやすい認知症家族の居場所となるよう継続した。

③ 認知症

- ・キャラバンメイトで勉強会を開催。神奈川県立精神医療センター物忘れ外来担当医師を講師としアルツハイマー型以外の認知症について学び普及啓発を図った。
- ・認知症サポーター養成講座は、キャラバンメイトのみならず、地域の支援者と協働し実施した。
- ・早期発見、早期受診の周知をケアプラザ通信で発信し、読んだ住民から新規の相談があった。
- ・認知症の方や家族が早期に相談に繋がるために、地域ケア会議、運営協議会、民児協の定例会などで、早期発見・早期受診により改善した好事例を発表し地域に働きかけた。
- ・認知症初期集中支援チームと協働し課題解決の糸口となった。
- ・だれでも参加できる「ふらり～カフェ」による居場所の支援と気軽な相談に応じた。
- ・スリーAを活動主体としている「元気づくりステーションゆらり」の支援者向けの研修へ、地域の活動グループからの受講を受け入れ、認知症や認知症予防についての理解や取り組みが拡大されるよう働きかけた。
- ・認知症予防講座の開催。
- ・はいかい認知症高齢者SOSネットワーク・ひまわりホルダーの周知と活用を図った。
- ・「認知症家族のつどい」の継続。
- ・若年性認知症のつどいの包括、社福分科会での協働開催し自主グループとなった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・区内主任ケアマネジャー、区役所との協働で、住民参加型やサービスB事業所とケアマネジャーの交流会を実施した。その後、交流会に参加できなかった居宅事業所に個別訪問し、エリア内のサービスB事業所の情報をケアマネジャーに積極的に発信し、自立支援型のケアプランに活かせるよう努めた。
- ・ケアプラザで行われる事業に、ケアマネジャーと担当利用者が参加し、ともに体験することで、ケアマネジャーが利用者の強みに気づき、自立支援型のケアプランに活かせるよう努めた。
- ・民児協とケアマネジャーの懇談会の実施に向け、民児協に取り上げて欲しいテーマの情報収集を行った。次年度に向けて検討を行った。情報収集の過程で顔の見える関係づくりの強化に努めた。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・エリア内で開業している医療機関を区役所、区医師会在宅医療相談室とともに個別訪問し、各機関の役割や相談しやすい関係づくりに努めた。そのことにより、医療機関に受診し介護保険の相談のあった高齢者の相談を受けることができた。迅速な対応ができたことで、地域で暮らす高齢者や、介護者の家族の、希望のケアマネジャーにつながるものが出来た。今年度は19か所の医療機関に訪問を行った。
- ・「医福ネット港南」にて福祉職と医療職の交流と学びの場の提供を3回行った。各回ともに100名を超す参加者があり、講座やグループワークを通して、医療介護、専門職間の交流の機会となった。

- ・区内主任ケアマネジャー、区と協働し、新任ケアマネジャー研修やケアマネサロンに「区医師会在宅医療相談室」についての講座での学び、個別に訪問が難しい精神病院への見学会を通し、ケアマネジャーに、医療機関との連携について学ぶ機会を作った。

③ケアマネジャー支援

- ・担当地域内の事業所訪問を定期的に行い、その場でケアマネジャーに声をかけ、関係の向上と抱えている事例相談等に対応し、内容によっては区役所高齢・障害支援課地区担当者とのケースカンファレンスに繋げた。
- ・担当地域内のケアマネジャーに向けて、新たにひざりケアマネサロンを立ち上げた。第1回目は、ターミナルケアについて、担当エリアで活動する訪問看護ステーションを講師とし、ともに学んだ。第2回目は港南区生活支援課を講師とし、生活保護、生活困窮者自立支援制度について学んだ。11名のケアマネジャーが参加。ケアマネジャーの自己研鑽の機会をつくるとともに、参加者同士が、顔の見える関係作りに努めた。
- ・ケアマネジメント新任研修前期では、4コースに分かれ病院、事業所、住まいの相談センターの見学会を行った。
- ・ケアマネジメント新任研修後期では、法令や民児協など地域との関わり、インテーク面接技法、アセスメント思考プロセスからの自立支援、区社会福祉協議会の役割、事例検討会、在宅医療相談室の役割、ロールプレイによるサービス担当者会議の開き方等を行った。
- ・ケアマネジメント新任研修を通じて、新人ケアマネ学習会の立ち上げと、会の維持向上を高年齢障害支援課と協働で行った。
- ・区内には5つのケアマネ学習会があり、輪番で学習会のアドバイザーとして運営支援を行った。
- ・「港南区ケアマネジメント講座」の実施。
- ・「港南区ケアマネ連絡会」の支援。
- ・「港南区ケアマネサロン」を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域ケア会議を丸山台地区で1回、ひざり地区で1回の計2回実施した。
- ・丸山台では地域住民がかねてより取り組んでいた「要支援者の見守り」について、医療機関、商店会、郵便局、民児協、介護事業所と区役所、作業療法士、ケアマネジャー、包括等の多職種が参加、議論の場を設け、多職種協働による地域包括ネットワークを構築する場を作った。それぞれの立場で、今行っている見守り、これから出来そうなことを話し合い、共有した。協議体へとつなげていく支援に発展した。
- ・ひざり地区において、総合相談支援にあがった、認知症の診断を受けた地域住民が、地域の役員を引き受けるにあたっての相談から、地域課題となっている役員の担い手不足について、地域ケア会議を行った。認知症を抱えていても、また多忙な働く世代も出来る仕組みづくりについて、地域住民と区役所、区社協、ケアマネジャーとともに話し合った。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・対象者の生活や、個々の目的に応じた目標設定を行うため、本人や家族等からの聞き取りを十分に行い、生活状況・心身状態を含め総合的なアセスメントを実施した。
- ・委託しているケースについては、ケアマネジャーと密に連携を取ると共に、支援困難ケースについては、必要に応じて高齢障害支援課や関係機関と様々な視点で検討し支援を行った。

- ・ ひざりケアマネサロンでケアマネジャーと相談しやすい関係づくりを行った。
- ・ 地域資源の把握と介護予防活動を行っているグループのチラシの配布によるケアマネジャーへ地域資源の情報提供を行った。また、活動情報誌を更新し、リストが配布出来るよう準備を行った。
- ・ 地域エリア内及び、委託しているケアマネジャーへ介護予防ケアマネジメントについての勉強会を開催へ向けて、ひざりケアマネサロンを立ち上げ準備を行った。
- ・ 区内の包括が連携して、介護予防支援従事者研修を実施した。
- ・ 目的志向型の介護予防ケアマネジメントについて、リハビリ専門職等の参加した地域ケア会議を開催した。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 元気づくりステーション
3カ所の元気づくりステーションで活動するメンバーへ今年度実施したアンケートで、元気づくりステーションへ参加し始めて心身や地域との交流で良い変化があったと答えた参加者が90%を超えており、活動を行うことの効果を実感できていることが分かった。
元気づくりステーションへ参加することによる個人の介護予防から、地域への介護予防につなげるため、情報の発信とボランティア活動を通じた地域貢献を支援する。
- ① アクティブシニア
介護予防講座後の受け皿として新たなメンバーを受け入れ、定期的な介護予防活動をする場の提供と、既存の活動の活性化と継続を支援した。
より自主的な運営ができるよう、高齢障害支援課と連携し、定期的なグループのアセスメントや評価を通じて、必要に応じ運営に関する具体的な提案を行い、運動だけではなく食事会を開催してメンバー間の交流を促進する支援を行った。
- ② 元気づくりステーション ゆらり
月2回の活動を主体的に運営するための支援を行った。運動会やクリスマス会など季節の行事なども含めて、更に自主的に企画・運営が出来るようメンバーと共に活動の評価を行いながら後方支援を行った。
地域への活動の周知についてメンバーと一緒に考え、新たなチラシ作りの支援などを行った。
グループで開催する研修へ地域サロンを運営するボランティアにも声をかけ、ゆらりのメンバーだけではなく、地域全体のスキルアップへ繋げた。
- ③ ルンルン体操
1部・2部が交流を持ちつつメンバー全体が互いに助け合いながら、役割を分担することで継続的かつ安定して運営していけるよう支援した。1部・2部の合同の運動会やウォーキングイベントの実施の支援を行った。
また、定期的にケアプラザでのボランティア活動を行うなどの地域貢献にも繋がっている。
- ④ 元気づくりステーション交流会
相互の活動の理解や、情報交換・交流を促進することでより良い活動が継続できることを目指して交流会開催した。
グループが増えて活動している人数が多くなっているため、JA横浜港南支店の会議室を借り、交流会では元気づくりステーションに関するアンケートを実施し、元気づくりステーション全体の評価を行った。
- ・ 高齢障害支援課と共に更に地区診断を進め、地域の高齢者の状況やニーズを把握し、介護予防に関する様々な情報提供や活動への参加の声掛け、必要に応じ個別の継続的な支援を行った。
- ・ 介護予防講座を2コース開催。
 - ① 前期：元気いちばんサポート講座
丸山台の住民がより参加しやすいようJA横浜港南支店の会議室を会場に開催した。

一般企業・ヘルスマイト・保健活動推進員等、様々な機関や地域で活動している方々と共に実施し、4回の日程全てが風雨など悪天候であったが平均の参加者が35名であった。

介護予防活動の継続を希望した参加者は元気づくりステーションを紹介したことで、元気づくりステーションの活性化にも繋がった。

②後期：オトナの男の「頂」講座

3部門で連携し、主に前期高齢者の男性にターゲットを絞り開催した。全11回の4か月間に及ぶ講座の中で、介護予防や地域デビューと地域貢献につながる新たな活動の立ち上げを目指し支援し、自主的な活動グループへ発展させることができた。

介護予防に関する内容では、開始時と終了時に体力測定を実施し、参加者は全ての項目において体力レベルの向上が認められた。開始時の動機づけや、継続するための支援を行うことで、新たな活動へチャレンジ（メンズエアロビクスなど）する講座のメニューや・グループで行うメリット・講座の設定期間などを十分に活かした。また、終了時には全体で振り返りを行い、今後も継続して介護予防を行う必要性について確認した。

- ・ 認知症予防として、神奈川県講師派遣事業を利用してコグニサイズの講座を開催した。
- ・ 自治会毎の老人会や地域の会へ出向き、運動・栄養・口腔ケア・認知症予防等、様々な内容で介護予防を普及啓発する講座を行った。
- ・ 広報誌を活用して、心身の介護予防に関する情報提供、包括で実施する介護予防事業の周知を行った。
- ・ 地域で活動する介護予防に資する活動の把握を行い、地域活動継続への支援としてスキルアップ研修として、パワーアップ活動のチカラを開催した。言語聴覚士を講師に招き、難聴や言語障害・認知症などでコミュニケーションが図りづらい方との関わりについて学んだ。

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 地域ケアプラザ指定管理者の責務として、快適かつ安全に利用頂ける様配慮し、施設及び設備についても日常の管理・点検を行った。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 電気・ガス・水道等無駄のない運営を心掛け、冷房・暖房の温度設定基準を設け、施設運営を心掛けた。
- ・ 貸館空き状況リストを定期的に更新し活用を促した。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情に対して迅速・誠実な対応を行うよう苦情受付→苦情対応相談員→苦情対応担当者→苦情解決責任者を設けています。
- 苦情となる前段階に誤解・行違いの改善を図り、相談窓口としての役割を担った。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 地域の方々と一体となり防犯・防災の体制を持つ関係作りを行った。
- ・ 防犯として：ひざり地区の夜間パトロール（地元町内会、歩こうクラブ、シルバークラブ、地区社会福祉協議会等）の出発・集合拠点としてケアプラザを利用して頂き、防犯体制が日常的に行えるよう協力を頂いた。
- ・ 防災に関して：防災訓練を2度行い、応急備蓄品の活用確認、AED訓練を行った。

(5) 事故防止への取組について

- ・ 予測可能な事故については未然防止策を講じ回避する様にしました。また、施設利用者へも転倒転落等の事故防止への案内と周知を団体交流会・ボランティア交流会で行った。
- ・ 調理室の刃物は事務所で管理し、貸館利用団体が使用する際に安全なケースに入れて貸出した。貸出時、返却時に本数の確認をした。
- ・ 調理室のガスの元栓のスイッチ操作はケアプラザ職員が行った。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 厳格に適正な個人情報の管理と取扱を徹底しました。具体的に
 - ・ FAX 誤送信防止に電話帳登録と複数名確認
 - ・ 郵送物の誤発送防止に複数名確認
 - ・ パソコンの施錠付管理及び盗難防止ロック
 - ・ 個人情報に関する書類は施錠できる書架に収納し退社
 - ・ USB等に個人情報データ入力を禁止
 - ・ データベースアクセス時の個別認識パスワード設定
 - ・ 個人情報無断持ち出し禁止
 - ・ プライバシーポリシーの作成と周知徹底
 - ・ 個人情報取扱いマニュアルの徹底

(7) 情報公開への取組について

- ・ 公共性の高い施設として各種法令を遵守し、地域に積極的に情報を公開しました。
 - ・ 運営状況等の閲覧
 - ・ 神奈川県介護サービス情報公表センターへの掲載
 - ・ 第三者評価の受審
 - ・ 掲示板や機関誌を用いた運営状況の報告
 - ・ ホームページの活用

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 各種外部研修等を通じて人権意識を高い水準で維持すると共に、市区行政の方針が地域住民に広く啓発できる様にしました。
特に近隣中学校から人権学習として高齢者問題（認知症）について地域と専門職種が関係を築き地域で見守ることの大切さを伝えるため講義と発表に毎年取り組んでいます。今年度も日限山中学校との協働での取り組みを行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 事業系ごみと資源ごみの分け方を基本に、ごみの分別を行いました。
- ・ 環境へ負荷を減らす取組みとして、移動時は公共交通機関、自転車を主に使用しました。
- ・ 館内の冷暖房温度を、区の推奨温度に設定しました。
- ・ 館内の照明は、省エネ型蛍光灯と LED を使用しています。夜間は安全に配慮した上で廊下等の照明を間引き点灯しました。
- ・ 町内一斉清掃にケアプラザ職員も参加しゴミ拾い、草取り等取組みを継続しました。
- ・ 印刷物は可能な限り裏紙を使用しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士 各1名

《目標に対する成果等》

- ・ ケアマネ連絡会にて、介護予防支援従事者研修を実施した。
- ・ 支援計画へ地域のインフォーマルサービスを組み込めるよう、活動情報誌についての説明や地域のサロン情報等をケアマネジャーへ配布し情報提供を行った。
- ・ 対象者の生活や、個々の目的に応じた目標設定を行うため、本人や家族等からの聞き取りを十分に行い、生活状況・心身状態を含め総合的なアセスメントを実施した。
- ・ 委託しているケースについては、ケアマネジャーと密に連携を取ると共に、支援困難ケースについては、必要に応じて高齢障害支援課や関係機関と様々な視点で検討し支援を行った。
- ・ 事業対象者については、定期的な地域での活動として、元気づくりステーションへの参加を促した。
- ・ 担当エリアの事業所のケアマネジャーにも参加してもらい、目的志向型の介護予防ケアマネジメントについて、リハビリ専門職等及び要支援・介護保険利用を終了した当事者を含めた地域ケア会議を実施した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

関係機関と密に連携を図りながら、対象者に応じた適切なプランを作成致します。インフォーマルサービスや地域資源を十分活用していただけるよう、情報提供及びプランへの位置づけ、活動のきっかけづくりの支援など、積極的な取り組みを行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	138	140	151	152	152
10月	11月	12月	1月	2月	3月
159	154	152	156	155	151

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1人
ケアマネジャー 3人

《目標に対する成果等》

- ・介護保険法令及び関係法令の遵守を念頭に公正中立なサービスを提供し、常にご利用者様とご家族の目線に合わせて、適宜にニーズに応じた保健・医療・福祉等の社会資源活用し、マネジメントしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域福祉の拠点であるケアプラザの居宅支援事業所として、充実した地域ネットワークの構築にも尽力し、関係行政機関、地域包括支援センター・医療との連携等積極的に行い居宅サービス計画を作成しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
121	117	123	120	121	121
10月	11月	12月	1月	2月	3月
118	127	121	119	118	117

- 通所介護・認知症対応型通所介護 **対象外**
- 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 **対象外**

平成30年度「日曜山地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,463,280	0	18,463,280	18,463,280	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	110,720	△ 110,720	
雑入	0		0	77,430	△ 77,430	
印刷代	0		0	17,430	△ 17,430	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0		0	60,000	△ 60,000	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）			0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	18,463,280	0	18,463,280	18,651,430	△ 188,150	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,466,000	0	10,466,000	9,811,910	654,090	
本俸	6,954,884		6,954,884	6,954,884	0	
社会保険料	723,072		723,072	723,072	0	
手当計	1,958,241		1,958,241	1,958,241	0	
健康診断費	39,393		39,393	39,393	0	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	76,320		76,320	76,320	0	
その他	714,090		714,090	60,000	654,090	
事務費	2,364,000	0	2,364,000	1,281,778	1,082,222	
旅費	25,000		25,000	26,530	△ 1,530	
消耗品費	800,000		800,000	396,916	403,084	
会議謝り費	42,000		42,000	8,400	33,600	
印刷製本費	5,000		5,000	196	4,804	
通信費	354,000		354,000	332,087	21,913	
使用料及び賃借料	19,000	0	19,000	16,533	2,467	
横浜市への支払分	19,000		19,000	16,533	2,467	
その他			0	0	0	
備品購入費	350,000		350,000	191,448	158,552	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	17,000		17,000	16,703	297	
職員等研修費	8,000		8,000	0	8,000	
振込手数料	1,000		1,000	540	460	
リース料	209,000		209,000	120,744	88,256	
手数料	1,000		1,000	85,820	△ 84,820	
地域協力費			0	0	0	
その他	532,000	0	532,000	85,861	446,139	
事業費	922,000	0	922,000	570,170	351,830	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,604	29,396	
指定管理料充当 事業	880,000		880,000	557,566	322,434	
管理費	3,874,000	0	3,874,000	3,427,237	446,763	
建築物・建築設備点検			0	0	0	
光熱水費	1,673,000	0	1,673,000	1,755,320	△ 82,320	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	213,000		213,000	191,970	21,030	
修繕費	474,000	0	474,000	288,809	185,191	
機械警備費	80,000		80,000	71,875	8,125	
設備保全費	1,141,000	0	1,141,000	1,004,388	136,612	
空調衛生設備保守	480,000		480,000	431,549	48,451	
消防設備保守	94,000		94,000	84,467	9,533	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	567,000		567,000	488,372	78,628	
共益費			0	0	0	
その他	373,000		373,000	114,875	258,125	
公租公課	1,008,237	0	1,008,237	784,952	223,285	
事業所税			0	0	0	
消費税	837,280		837,280	784,952	52,328	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）	170,957		170,957		170,957	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対対応費			0	0	0	
支出合計	18,634,237	0	18,634,237	15,876,047	2,758,190	
差引	△ 170,957	0	△ 170,957	2,775,383	△ 2,946,340	

自主事業費収入	880,000		880,000	110,720	769,280	自主事業への参加料等
自主事業費支出	880,000		880,000	557,566	322,434	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 446,846	446,846	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「日限山地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,308,000	0	23,308,000	23,308,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	57,500	△ 57,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0		0	
収入合計	29,248,000	0	29,248,000	29,305,500	△ 57,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,917,000	0	25,917,000	21,227,251	4,689,749	
本俸	15,643,864		15,643,864	13,482,936	2,160,928	
社会保険料	3,658,720		3,658,720	2,626,093	1,032,627	
手当計	6,092,605		6,092,605	4,616,991	1,475,614	
健康診断費	47,991		47,991	37,791	10,200	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	473,820		473,820	343,440	130,380	
その他			0	120,000	△ 120,000	
事務費	1,031,000	0	1,031,000	1,265,925	△ 234,925	
旅費	40,000		40,000	35,010	4,990	
消耗品費	167,000		167,000	257,161	△ 90,161	
会議ठीい費			0	3,061	△ 3,061	
印刷製本費	17,000		17,000	8,417	8,583	
通信費	370,000		370,000	345,178	24,822	
使用料及び賃借料	4,000	0	4,000	4,395	△ 395	
横浜市への支払分	4,000		4,000	4,395	△ 395	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	57,000		57,000	335,844	△ 278,844	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	17,080	△ 7,080	
職員等研修費	2,000		2,000	1,080	920	
振込手数料	7,000		7,000	670	6,330	
リース料	236,000		236,000	0	236,000	
手数料	10,000		10,000	22,680	△ 12,680	
地域協力費			0	0	0	
その他	111,000	0	111,000	235,349	△ 124,349	
事業費	1,270,000	0	1,270,000	284,993	985,007	
協力医	630,000		630,000	21,000	609,000	
指定管理料充当 事業（包括）	180,000		180,000	26,379	153,621	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	86,614	222,386	
管理費	1,030,000	0	1,030,000	904,717	125,283	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	445,000	0	445,000	466,603	△ 21,603	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	57,000		57,000	51,030	5,970	
修繕費	126,000		126,000	76,771	49,229	
機械警備費	22,000		22,000	19,105	2,895	
設備保全費	298,000	0	298,000	266,988	31,012	
空調衛生設備保守	128,000		128,000	114,715	13,285	
消防設備保守	25,000		25,000	22,453	2,547	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	145,000		145,000	129,820	15,180	
共益費			0	0	0	
その他	208,000		208,000	24,220	183,780	
公租公課	25,150	0	25,150	0	25,150	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）	25,150		25,150		25,150	
事務経費（計算根拠を説明欄に記）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,273,150	0	29,273,150	23,682,886	5,590,264	
差引	△ 25,150	0	△ 25,150	5,622,614	△ 5,647,764	

自主事業費収入	1,270,000		1,270,000	57,500	1,212,500	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,270,000		1,270,000	263,993	1,006,007	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 206,493	206,493	

管理許可・目的外使用許可収入			0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 自主事業収支報告書

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額								
	②参加人数	総経費	収入			支出				
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他		
赤ちゃん教室	乳幼児	236	0	地活	0	0	0	0	0	
	包括									
	生活									
子育てひろば	乳幼児	2285	0	地活	0	0	0	0	0	
	包括									
	生活									
カフェドリーム	高齢者	198	0	地活	0	0	0	0	0	
	包括									
	生活									
ケアプラザtheフェスティバル in日限山	地域	480	82430	地活	82430	0	0	0	0	82430
	包括									
	生活									
廊下ギャラリー	地域	0	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
宿題ルーム	子ども	62	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
あい基で将!	高齢者	551	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
地域サロン出前講座	高齢者	128	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
ふらり~カフェ	地域	346	0	地活	34600	0	0	34600	0	0
	包括									
	生活			0						
認知症・家族のつどい	高齢者	54	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
ぐんぐんひろば	乳幼児	279	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
パソコン何でも 無料相談	高齢者	91	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
認知症理解と援助	地域	52	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
草むしり大会	地域	29	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
広報誌「ひだまり」	地域	0	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									
入園までの ワン・ツー・スリー	乳幼児	38	0	地活	0	0	0	0	0	0
	包括									
	生活									

平成30年度 自主事業収支報告書

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ドルフィン	障がい者	113200	地活	104000	9200	0	10000	0	103200
	92		包括						
	100		生活						
貸館登録団体交流会	その他	0	地活		0	0	0	0	0
	34		包括						
	0		生活						
夏休み工作「フラワーリース」	子ども	14068	地活	5568	8500	0	5568	8500	0
	17		包括						
	500		生活						
夏休み工作「クッキー」	子ども	9000	地活	0	9000	0	0	9000	0
	18		包括						
	500		生活						
みんなであそぼう	乳幼児	12070	地活	12070	0	0	0	12070	0
	64		包括						
	0		生活						
地域納涼祭ブース出展	地域	1000	地活		0	0	0	1000	0
	700		包括						
	0		生活	1000					
ひざり地区社会福祉協議会「福祉講座」	地域	0	地活		0	0	0	0	0
	155		包括						
	0		生活						
こどもアドベンチャー出前講座「優しい心配り」「敬う」「福祉」とは「車椅子体験・高齢者疑似体験」	子ども	0	地活		0	0	0	0	0
	36		包括						
	0		生活						
オトナの男の「頂」講座	高齢者	89000	地活	19500	50000	0	26000	63000	0
	113		包括	19500					
	5000		生活						
出前講座 ゆいの会	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0
	10		包括						
	0		生活						
公園であそぼう出張はっち	乳幼児	0	地活		0	0	0	0	0
	55		包括						
	0		生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

平成30年度 自主事業収支報告書 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
セカンドライフ大学校	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0
	219		包括					
	0		生活					
子どもも大人も全員で団結！ 地域防災講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	35		包括					
	0		生活					
ケアプラザtheギャラリー	地域	131202	地活	131202	0	0	0	131202
	241		包括					
	0		生活					
クリスマス会	子ども	20260	地活	20260	0	0	7000	13260
	21		包括					
	0		生活					
幼少期～学齢期「発達障がい」知って欲しい。～私たちに出来ること～	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	16		包括					
	0		生活					
私の人生計画	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	297		包括					
	0		生活					
ひざりケアマネサロン	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	18		包括					
	0		生活					
登録ボランティア交流会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	29		包括					
	0		生活					
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0
	28		包括					
	0		生活					
餅つき大会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	256		包括					
	0		生活					
PapaCoスクール	乳幼児	0	地活	0	0	0	0	0
	11		包括					
	0		生活					
コグニサイズ	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0
	89		包括					
	0		生活					
ひまわりホルダー登録会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0
	18		包括					
	0		生活					
永野地区民生委員 児童委員研修	その他	0	地活	0	0	0	0	0
	27		包括					
	0		生活					
丸山“大”ホコテン	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	281		包括					
	0		生活					
日限山中学校 認知症サポーター養成講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	119		包括					
	0		生活					

平成30年度 自主事業報告書

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
赤ちゃん教室	初めての赤ちゃん（0歳児）の保護者向け相談交流。	10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てひろば	未就園児対象。親子の交流サロン。	50回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェドリーム	地域の憩いの場	6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザtheフェスティバル in日限山	地域福祉拠点のPR、地域活動団体の発表の場	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
廊下ギャラリー	地域に開かれた発表の場。ケアプラザのPR	21回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
宿題ルーム	児童・生徒の放課後の居場所づくり	132回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
あい基で将！	高齢者の居場所作り 既存のグループに途中加入するのを躊躇している方向けに開催	23回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域サロン出前講座	介護予防、認知症予防、地域づくり支援	10回

平成30年度 自主事業報告書

平成30年度 自主事業収支報告書 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふらり〜カフェ	専門職が開催する。 認知症高齢者、障がい者、子育て世代の親子など地域の方が誰もが気軽に集えるカフェの開催により多世代交流・地域の顔見知りを作ることを目指す。	12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症・家族のつどい	認知症の家族を介護している方の孤立化防止、虐待防止	10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐんぐんひろば	地域で学べる場の提供	11回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉保健計画 健康づくり部会	地域福祉保健計画「住んでよかった日限山！これまでも、これからも」を目指す ・健康健康寿命UP ・健康づくりの場の充実 ・ふれあいの場づくり ・福祉・健康講座の充実	5回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉保健計画 障がい児者部会	地域福祉保健計画「住んでよかった日限山！これまでも、これからも」を目指す ・つながる為の場づくり ・障がいへの理解 ・つながる為の仕組みづくり ・緊急時に備えた助け合いの関係づくり ・住民ボランティアの拡充	17回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉保健計画 高齢者部会	地域福祉保健計画「住んでよかった日限山！これまでも、これからも」を目指す ・日限山地域ケアプラザの活用 ・向こう三軒両隣お互い様の関係づくり ・支え合う仲間づくり ・交通手段の確保	4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉保健計画 子ども青少年部会	地域福祉保健計画「住んでよかった日限山！これまでも、これからも」を目指す ・支援のネットワークづくり ・地域住民からの学びの場づくり ・異世代間交流の場づくり ・次世代の地域参加の場づくり	3回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉保健計画 活性化部会	地域福祉保健計画「住んでよかった日限山！これまでも、これからも」を目指す ・地域特性と課題の把握 ・助け合いネットワークの充実 ・福祉活動の拠点づくり ・広報の充実	0回

平成30年度 自主事業報告書

平成30年度 自主事業収支報告書 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パソコン何でも 無料相談	地域のボランティアによる、シニア向けのパソコン相談室。今まで培ってきたノウハウで地域貢献したいとの声から発足。	12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症理解と援助	地域の方への認知症理解を深める。地域ブランチのさわやか港南と共催で事業を行う事で連携	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
草むしり大会	ケアプラザに愛着をもってもらうため。	3回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報誌「ひだまり」	ケアプラザのPR。	6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
入園までの ワン・ツー・スリー		1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドルフィン	日限山中学校区の個別支援級に通う子供たちの夏休み余暇支援	8回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館登録団体交流会	貸館登録団体同士の繋がりができ、お互いの活動に興味関心をもてるように目指す。	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作 「フラワーリース」	小学生対象でケアプラザでの余暇活動、夏休みの宿題での手助けになるような作品を制作。	1回

平成30年度 自主事業報告書

平成30年度 自主事業収支報告書 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み工作「クッキー」	小学生対象でケアプラザでの余暇活動。保護者へ貸館及び調理室の利用PRを行う。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなであそぼう	未就園児対象 育児支援 季節の遊びを行い母親同士の交流を行う。 夏休みを利用し、中学生もボランティアとして参加して福祉活動に興味をもってもらおう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域納涼祭ブース出展	老若男女の皆様にケアプラザと福祉の周知啓発	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひざり地区社会福祉協議会 「福祉講座」	地区社協の理解と周知 最期まで自分らしく地域で暮らし続ける為に	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもアドベンチャー 出前講座 「優しい心配り」「敬う」 「福祉」とは 「車椅子体験・高齢者疑似体験」	子どもと親に向け、福祉の心構えを体験を交えて学ぶ	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オトナの男の「頂」講座	新しい仲間をつくり、講座終了後地元で活かすことを目標 男性グループによる地域活動	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 ゆいの会	ケアプラザを親しく思い、知って頂く。 地域の活性化、介護予防・支え合いの為に	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公園であそぼう 出張はっち	未就園児対象 育児支援 外遊びと通じての交流。	1回

平成30年度 自主事業報告書

平成30年度 自主事業収支報告書 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
セカンドライフ大学校	定年後の男性が地域デビューをするための支援	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもも大人も全員で 団結！ 地域防災講座	大地震が起こった時、実際に起こった時にどのようなことが想定されるかHUG（避難所運営	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザtheギャラリー	貸館団体・地域の方の芸術品発表の場及び交流の場 実行委員会を作り、他団体との交流及び住民同士で展示会を作り上げる。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス会	未就学～小学生対象とした季節イベント。子ども同士の世代間交流(幼児～児童)。 保護者向けのケアプラザ貸館PRとして	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼少期～学齢期 「発達障がい」知って欲しい。 ～私たちに出来ること～	発達障がいを理解し、助け合いが出来る街になるよう啓発事業。 普段障がい者と接点の無い方へ理解啓発を行う。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
私の人生計画	権利擁護事業	5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひざりケアマネサロン	ケアマネジャーの自己啓発の場、ケアマネジャー同士の交流の場	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録ボランティア交流会	登録ボランティア同士の繋がりができ、お互いの活動に興味関心をもてるように目指す。	1回

平成30年度 自主事業報告書

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	ボランティア活動推進のため	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
餅つき大会	日本の伝統行事を体験することで子どもから大人まで繋がり、助け合いの心をもってもらふ。	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
PapaCoスクール	父親向け子育て教室 男性の子育て支援を行うことにより、男性を巻き込んだ地域の繋がり場のきっかけ作り。	2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズ	介護予防、認知症予防、地域づくり支援	3回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひまわりホルダー登録会	見守り強化と支援	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
永野地区民生委員 児童委員研修	永野地区民生委員児童委員のスキル向上と関係深める	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
丸山“大”ホコテン	丸山台地区（商店街）との関係強化とケアプラザ周知そして、港南区50周年	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
日限山中学校 認知症サポーター養成 講座	高齢者の特徴と認知症について、地域VO共に学ぶ。	1回